

たった1回の札幌市の空襲から戦争を見つめる

6 年生 社会科 「戦争と人々の暮らし」

児童
6 年 3 組 31 名

指導者
多田 公洋

視点1 心をひらく教材化

単元を通して、戦争の悲惨さを実感的に理解し、二度と戦争をしないという見方・考え方に立ち、子供たちを育てたいと考える。

1. 15 年戦争を身近にする

< 15 年戦争当時の札幌を教材に >

日本の戦災地といえば、原爆被害にあった広島・長崎、あるいは、大空襲を受け、焼け野原になった東京、地上戦があった沖縄が挙げられる。

しかし、札幌に住む子供たちにとって、それらの地域は距離的にも、心理的にも遠く、行って見たり、行って聞いたりすることは困難である。

そこで本実践では札幌の戦争遺跡・遺産を利用して、15 年戦争を見つめる教材化を図った。その具体として、1945 年 7 月 15 日にあった札幌空襲を取り上げる。大きな被害にあった地域と比較して、死者 1 名、1 回の空襲という事実を、「たった 1 回」なのか、「されど 1 回」なのか、子供たちがじっくりと 1 回の空襲の意味を考える授業を構成した。

2. 人々の生活を追体験してイメージを広げる

< 子供と 15 年戦争をつなげる戦争体験者の言葉 >

かつては家族や地域に戦争体験者がいて、その方々から直接話を聞いて、15 年戦争を身近に感じることができた。しかし、戦後 64 年が過ぎ、子供たちの祖父母世代であっても戦後生まれの方が多く、なかなか戦争の体験を耳にする機会がなくなっている。

本単元では、地域の戦争体験者のお年寄りの方々に話をうかがう場面を設定した。そして、戦時中の暮らしぶりなどについて、生の声を聞くことにより、教科書や資料集の文字からだけでなく、当時の食生活や学校生活、空襲への備えなどを追体験しながら、学んでいくことができると考えた。

3. 歴史の中に自分を投影する～戦時中の子供と比較～

< 子供の視点から戦争を見つめるための援農・疎開 >

子供たちが戦争を実感的に理解するためには、当時の子供たちに自分を投影しながら学ぶことが重要である。そのために、戦時中の子供たちに関係性の深い援農や疎開を取り上げ、今と昔を比較しながら考えるようにした。

単元の目標

近隣諸国との戦争とその被害の様子、戦時中の国民生活に関心をもっている。(関)

戦争と日本国民の暮らしの関連を考え、適切に判断している。(思)

祖父母や地域の戦争体験者への聞き取り調査や資料から、戦時中の国民生活について調べている。(技)
我が国が戦時体制に移行し、近隣諸国に大きな被害を与え、また、国民が大きな被害を受けたことが分かっている。(知)

学習活動計画(7時間扱い 本時6/7)

1 次 十五年戦争とは	<p>15 年戦争とはどんな戦争だったのか?</p> <p>中国との戦争がきっかけ アジアや太平洋に広がった</p> <p>近隣諸国に大きな被害が出た戦争だった。</p> <p>日本には・・・</p> <p>沖縄地上戦 東京大空襲 広島・長崎原爆</p> <p>戦争を進める結果、日本にも大きな被害が出た戦争だった。</p>
2 次 お年寄りへの聞き取り	<p>戦時中はどんな生活をしていたのか?</p> <p>戦争体験したおじいちゃん・おばあちゃんに聞いてみよう!</p> <p>食べ物といえば・・・ 子供・女の人も働いた</p> <p>大変な生活だった</p> <p>防空壕があって・・・ 学校では訓練が・・・</p>
3 次 札幌の人たちにとっての戦争	<p>畑になった大通公園 戦争中の札幌はどんな様子?</p> <p>食糧生産に励んでいた</p> <p>多くの人が出征した 空襲に備えていた</p> <p>札幌空襲</p> <p>学童疎開</p> <p>命を守るため 防空対策</p> <p>たった一回の空襲が、人々の心に大きく影響したんだね。</p> <p>どうして、札幌空襲の唯一の被害者の死を伝える記事が小さい記事なのだろう?</p> <p>戦死者多数 報道をコントロール</p> <p>人々の心を縛り付ける戦争を二度としてはいけないんだ</p>

視点2. 教師のかかわり

(見取るかかわり)(つなぐかかわり)

机間指導を通して、子供たちの考えを「子供の命を守るため」、「大人が戦うため」という視点で見取る。そして、全体交流の場では、「子供の命を守るため」という視点から発表させ、その2つの視点で板書を構成する。

(考えを整理するかかわり)

学童疎開を実施する理由として、子供の命を守るという生命尊重の視点がある。確かにそういった側面も否定できないが、当時の価値観から言えば、単純にそれだけではない。そのことに気づかせるために、子供たちも軍事的な訓練を受け、戦力となる準備をしていたことを提示する。それにより、本土決戦に備え、戦争に勝つために次世代の戦力を守るという考え方が学童疎開にはあったことに気づかせる。

本時の目標... 札幌の空襲が人々に与えた影響を、空襲後に学童疎開を進めた事実から考えることができるとともに、当時の子供たちに自分を投影し、戦争の悲惨さを実感する。(思考・判断)

本時の学習活動の想定(6/7)

子供の活動	かかわり
<p>前時までの子供の意識</p> <p>戦時中の札幌は、空襲や戦災が少なかったことから、食料生産の場となっており、子供たちも農作業を行っていたことを学んでいる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>全国空襲マップ</p> <p>東京 広島 長崎 沖縄</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; display: inline-block;"> <p>札幌 空襲1回 死者1人</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">札幌 = 安全?!</p> <p>あれ?札幌は少ないよ。</p> <p>被害は小さかったのに 子供は労働力なのに</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px;"> <p>たった一度だけの空襲で、 どうして、札幌市は学童疎開を進めたのか?</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>子供の命を守るために</p> <p>空襲で人が亡くなっているから</p> <p>他の地域のように増えるかもしれない</p> <p>田舎の方が食べ物があるから</p> <p>軍事教練(銃)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>空襲1度でも</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>大人が戦うために</p> <p>子供が足でまといになるから</p> <p>子供は戦力にならないから</p> <p>大人だけのほうが戦いやすい</p> <p>竹槍訓練</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">未来の大人を守るために</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px;"> <p>空襲の怖さを体感した札幌の人たちは、 未来の大人たちを守るようにした。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 0.8em;"> <p>飯塚さん</p> <p>「空襲のあと、次に狙われるのは札幌だとか、札幌にも原子爆弾を落とされるといふ噂が流れていたんです。」</p> </div> </div>	<p>・前時想起をするなかで、空襲が一度であったことを確認する。</p> <p>・学童疎開を進める新聞記事(やさしくしたものを)を提示し、たった一度しか空襲を受けていないのに、学童疎開を進めようとした意図を考えさせる。</p> <p>・学童疎開の一要因として、未来の戦力確保があることに気づかせるために、軍事教練を受けていた事実を提示する。</p> <p>・札幌空襲を体験した飯塚さんの言葉を紹介して、当時の人々が空襲の本当の怖さを知ったことを確認する。</p>